



「つくる」と「学ぶ」研修

本年度、長研自主研修が3回実施されました。本研修の目的は、「研修員の企画力の向上」と「幅広い視野と知識・技能の習得」の2点でした。具体的な計画を作成したり、関係各所と連絡・調整したり、役割分担を行ったりと、チームで協議を重ね、参加者が学びを深められるように研修を企画・運営することができました。

研修を「運営する」「受講する」という2つの立場を経験し、充実した学びを支えるためには組織的かつ計画的に実践することの重要であることを実感しました。

「教職員のためのメンタルヘルス

ヨガ講座」

講師：ヨガインストラクター

吉田 ナーシャ 氏

令和5年12月13日(水)



「教職員が見通しをもって

職務に取り組む学校づくり」

講師：芦屋町立芦谷東小学校

坂口 博章 氏

令和6年2月28日(水)



「身に付けよう!接遇マナー」

講師：社員教育接遇マナー研究所

俵 純子 氏

令和6年3月5日(火)



長期派遣研修を終えて

教育指導部、教育経営部それぞれを代表して、2名の研修員が「1年間での学びや成長」「今後の抱負」を述べます。

1年間の研究は「カリキュラム・マネジメントとは何か」、「所属校の重点目標達成に向けて子供達にどのような資質・能力を育成すればよいのか」という疑問からスタートしました。多くの文献や協議、視察等から、子供の学びをつなぐ重要性やその手立て等を学びました。また修養面において、様々な業種の講師による講義・演習を受けたり、今まで何気なく受けてきた研修が企画・運営される様子を目の当たりにしたりして、職員間のつながりや1人1人の強みを生かしたチーム力、更にそれが系統的に繋がる組織力の大切さを学びました。この1年間で得た学びを、今後、所属校やそれぞれの地域での教育活動に生かしていきたいと思えます。

教育指導部 浦田 香代子

1年間の研修を通して、組織マネジメントを進める上での大切な見方・考え方、手法を学びました。今後、どの学校においても課題となる若年教員の育成について、一つの形を見出し実践できたことは、貴重な経験となりました。それぞれの学校の教育資源を分析・活用しながら、「特殊解」となる学校に応じた人材育成の在り方や手法について、今後も実践を交えながら研究を続けていきたいと思えます。最後に、このような学びの機会を与えて下さった福岡県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、また校長先生をはじめとする所属校の先生方への感謝の念を忘れず、今後も精進していきたいと思えます。

教育経営部 蒲池 裕一郎